

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 西源					
代表者名	氏名	山田 一浩	役職名	取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市小屋南二丁目9番25号					
主たる事業の分類	大分類	I 卸売・小売業				
	中分類	58 飲食料品小売業				
主たる事業の概要	食品ディスカウントスーパーの運営					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	1,993	1,950	2,010	2,151	1,966
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,635	3,600	3,670	3,925	3,590
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	5		5	5	5
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	10				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020 年度～	2022 年度
報告対象年度	2022	年度			

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	西源流通団地店2階事務室に設置(10:00~17:00) 総務課(TEL 0263-57-8801)
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

既存店各店において照明、空調、外灯、電気器具等の使用状況を管理し、使用量を抑えることにより温室効果ガスの排出抑制を継続実施する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

月1回の店長会議時に上下水道使用量、電気使用量、ガス使用量について前月使用量を各店長に提示、指摘。前年対比で大きく上回る店舗については原因追求と改善を求めている。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,635	t-CO ₂	延床面積	26.87	単位	千m ²
2019年度	調整後排出量	3,635	t-CO ₂	基準原単位	135.28	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度	目標排出量	3,600	t-CO ₂	目標原単位	133.94	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	目標削減率	0.96	%	目標削減率	0.99	%	
目標設定に関する説明	毎月の既存店での節水、節電等で微量であるが使用量を抑制する見込み。						
第一年度	排出量	3,670	t-CO ₂	延床面積	26.87	単位	千m ²
	削減率	-0.97	%	原単位	136.58	t-CO ₂ /	千m ²
2020年度	調整後排出量	3,670	t-CO ₂	原単位削減率	-0.97	%	
	削減率	-0.97	%				
排出量等の増減理由	毎月の既存店での節水、節電等で微量であるが使用量を抑制する見込みであったがガスの使用量が予想以上に前年より多くなり排出量を増加させてしまった。今後は電気だけでなくガス使用にも注意喚起し、抑制する。						
第二年度	排出量	3,925	t-CO ₂	延床面積	26.87	単位	千m ²
	削減率	-7.98	%	原単位	146.07	t-CO ₂ /	千m ²
2021年度	調整後排出量	3,925	t-CO ₂	原単位削減率	-7.98	%	
	削減率	-7.98	%				
排出量等の増減理由	コロナ禍において家庭内需要が高まり惣菜等の増産によりガス・電気の使用量が前年より多くなり排出量を増加させてしまいました。また、諏訪店においては昨年4月建替えオープン時にオール電化へと切り替えた事で電気使用量が大幅に増加しております。今後の取組みとして全社の取組みとして就業時間の見直しによる電灯時間の短縮やバッグヤードの蛍光管の取り外しをおこない抑制する。						
第三年度	排出量	3,590	t-CO ₂	延床面積	26.87	単位	千m ²
	削減率	1.23	t-CO ₂	原単位	133.61	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	調整後排出量	3,590	t-CO ₂	原単位削減率	1.23	%	
	削減率	1.23	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	光熱費の大幅な値上げにより、節減意識が高まり全店舗で昨年度を下回った。また、全国的にも光熱費の高騰が話題となっていた為、店内の節電対策をし易い環境でもありました。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	10	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110201	主要設備等の定期的な点検・清掃	2020～2022		2020～2022	
2	エネ起	130105	空調運転時間の見直し	2020～2022		2020～2022	
3	エネ起	140203	節水コマ、節水シャワーヘッド	2020～2022		2020～2022	
4	エネ起	150204	不要時間帯、不要な場所の消灯	2020～2022		2020～2022	
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	9	3,635	9	3,670	9	3,925	9	3,590
合計	9	3,635	9	3,670	9	3,925	9	3,590

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	2	2	3	3
合計	2	2	3	3
自動車総数	5	5	5	5
次世代車導入割合	40	40	60	60

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	なし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

なし